

62 歳男性。近医にて肝酵素の上昇を指摘されたため来院した。飲酒歴は機会飲酒、喫煙歴は 46 年間 1 日 10 本喫煙していたが、現在は禁煙している。身長 166cm、体重 67kg。体温 36.4℃、脈拍 65/分、整。血圧 117/62mmHg。眼球結膜に黄染認めない。心音と呼吸音に異常認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾は触知しない。下腿浮腫は認めない。血液検査所見：赤血球 312 万、Hb 10.9 g/dl、Ht 32 %、白血球 4000。血液生化学所見：総蛋白 7.1 g/dl、アルブミン 3.5 g/dl、総ビリルビン 0.5 mg/dl、直接ビリルビン 0.2 g/dl、AST 85 IU/l、ALT 67 IU/l、ALP 220 IU/l。免疫学所見：HBs 抗原陽性、HCV 抗体陰性。腹部ダイナミック CT を行ったところ、肝右葉に早期濃染を認める 3cm の腫瘤を 2 個認めた。

問 1. この患者で上昇していると考えられるマーカーはどれか。2 つ選べ。

a AFP b CEA c CYFRA d PIVKA II e CA19-9

問 2. 治療として適切なものはどれか。2 つ選べ。

a ラジオ波焼却法 b 肝移植 c 肝動脈化学塞栓術
d 分子標的治療薬 e 肝切除

解答

問 1. a,d 問 2. b,c

59 歳男性。

現病歴：近医にてヘリコバクター・ピロリ菌の除菌を受けていた。上部消化管内視鏡を受けたところ、胃に異常を指摘されたため紹介されて受診した。

既往歴：8 年前から高血圧で治療中。

生活歴：喫煙は 30 本/日を 39 年間。飲酒は焼酎 2~3 杯/日を 39 年間。

家族歴：父親が肺癌。

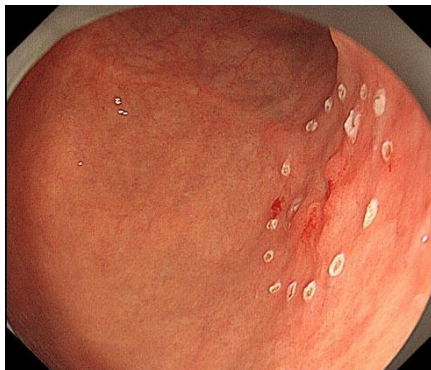
現症：意識は清明。身長 176cm、体重 72kg。体温 36.2℃、脈拍 46/分、整。血圧 153/85mmHg。

呼吸数 18/分。眼瞼結膜と眼球結膜に異常を認めない。表在リンパ節は触知しない。心音と呼吸音に異常を認めない。腹部は平坦で、腫瘤は触知しない。

検査所見：血液検査：赤血球 333 万、Hb11.2g/dl、Ht32%、白血球 6200、血小板 24 万。

血液生化学検査：総蛋白 6.8g/dl、アルブミン 4.5g/dl、総ビリルビン 0.6IU/l、直接ビリルビン 0.4IU/l、AST 39IU/l、ALT42IU/l、LD 202IU/l（基準 176~353）、ALP 254IU/l（基準値 115~359）、 γ -GTP 32IU/l（基準値 8~50）、アミラーゼ 75IU/l（基準 37~160）、CK129（基準 30~140）、尿素窒素 5.0mg/dl、血糖 109mg/dl、HbA1c 5.8%、Na 138mEq/L、K 3.8mEq/L、Cl 100mEq/L。CRP 0.3mg/dl。

上部消化管内視鏡の治療時の像を別に示す。



問 1. 上部消化管内視鏡の肉眼分類はどれか。

Aa 0- I b 0- II a c 0- II b d 0- II c e 0- III

問 2. 本症例でのリスク因子はどれか。2 つ選べ。

a 家族歴 b ヘリコバクター・ピロリ菌感染の既往 c 喫煙歴
d 高血圧の既往 e 飲酒歴

解答

問 1. d 問 2. b,c

26 歳男性。腹痛を主訴に当院救急外来を受診した。

現病歴：1 年間で 25kg の体重減少、2 か月前から 38℃台の発熱と下痢を認めた。1 か月前から肛門部痛と血便が出現した。1 日に 3~4 回泥状で血が混ざった便が出る。

既往歴：特記事項なし。

生活歴：缶ビール 1~2 本/日、喫煙歴はなし。

家族歴：特記事項なし。

現症：意識は清明。身長 172 cm、体重 50.5 kg。体温 37.4 °C、脈拍 103 /分、整。血圧 108/70 mmHg。呼吸数 18 /分。眼瞼結膜と眼球結膜に異常を認めない。表在リンパ節は触知しない。心音と呼吸音に異常を認めない。腹部は平坦で、腫瘤は触知しない。

検査所見：血液検査：赤血球 348 万、Hb 8.5 g/dl、Ht 38 %、白血球 8200、血小板 52 万。
血液生化学検査：総蛋白 6.5 g/dl、アルブミン 2.3 g/dl、総ビリルビン 0.6IU/l、直接ビリルビン 0.5 IU/l、AST 42 IU/l、ALT 44 IU/l、LD 214 IU/l (基準 176~353)、ALP 267 IU/l (基準値 115~359)、 γ -GTP 26 IU/l (基準値 8~50)、アミラーゼ 68 IU/l (基準 37~160)、CK 124 (基準 30~140)、尿素窒素 4.2 mg/dl、血糖 109mg/dl、総コレステロール 54 mg/dl、コリンエステラーゼ 320 IU/l(基準 400~800)、HbA1c 5.7 %、Na 137 mEq/L、K 3.2 mEq/L、Cl 103 mEq/L。CRP 10.69 mg/dl。

下部消化管内視鏡検査の結果を別に示す。



問 1. 下部消化管内視鏡検査の所見として正しいものはどれか。

- a 偽膜の付着 b 偽ポリポース c 陰窩膿瘍 d 敷石像 e 非乾酪壊性肉芽腫

問 2. 治療として正しいのはどれか。2 つえらべ。

- a メサラジン b メトロニダゾール c 副腎皮質ステロイド
d バンコマイシン e 非ステロイド性抗炎症薬

解答

問 1. d 問 2. a,c